

羽田都心低空飛行ルート



羽田都心飛行ルート下の住民・勤労者を対象とした実態調査と調査結果の公表を求める請願
… 全会一致で採択



みなとの空を守る会と、航路下の18の町会長が提出した請願は、「2本の航路下の住民・勤労者等を対象に、実態調査を行い、結果を公表する」ことを求めたものです。請願は、交通・環境等対策特別委員会（風見利男委員長）で審議されました。基本計画では「羽田空港新飛行経路の運用について、騒音の状況や区民の声等を国に伝える」と明記されていることから、区民の声を聴くことは、請願の求める内容と合致するものです。審議の結果、自民、公明は継続を主張しましたが、否決となり再度採決の結果、全会一致で採択されました。

都心低空飛行をやめ、海上ルートにもどせ

海上ルートの活用、固定化回避の様々な運用の検討を要請…区長

都心低空飛行が強行されてから1年2カ月が過ぎました。住民は騒音、落下物、排気ガス、墜落の危険という状況での生活を余儀なくされています。都心上空を1年間飛んだパイロットから、「ヒヤリ・ハット体験」の報告が相次いでいます。都心低空飛行ルートの運用は、東京五輪の開催、訪日外国人の受け入れ拡大などが理由ですが、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大で大前提が崩れました。都心低空飛行をやめ、海上ルートの活用を国に要請するよう求めました。区長は、「今後も海上ルートの活用、固定化回避の様々な運用などの検討を要請していく」と答えました。

共産党が長年要求

補聴器購入費助成制度が実現

聞こえないと社会からも、
家族からも孤立するとの訴えが実る



補聴器購入費助成制度は23区では15区が実施しています。共産党議員団は、機会ある毎に議会で取り上げ、ねばり強く難聴高齢者への補聴器購入費助成と聞こえの支援を求めてきました。区長は第1回定例会では「厚労省の研究結果を踏まえ検討する」と答えていました。今定例会で3月に出された厚労省の研究結果を基に中高年以降の難聴が認知症になるリスクがもっとも高いことや自治体の聴力検査や補聴器購入費助成などの支援が遅れている事を指摘し、早期実施を求めました。区長は「難聴高齢者の社会参加を積極的に支援するため、港区独自の補聴器購入費助成制度を早く制度化できるよう努める」と答えました。大きな前進です。一日も早く実施できるようにがんばります。

当時の築堤。信号機と蒸気機関車



高輪築堤の完全保存と公開を

日本考古学協会、日本イコモス国内委員会、鉄道史学会など多くの団体が完全保存、公開を求めています。ところがJR東日本は、第7橋梁部を含む築堤の一部を現地保存、信号機部分は移築保存し、残りは記録保存の方針です。「記録保存」とは鉄道遺構を残すのではなく破壊することです。世界的な遺産とも

いべき貴重な鉄道遺構をなくすことは許されません。JR東日本に対し、「150年前の鉄道発祥の地の鉄道遺跡は、記録保存でなく、完全保存、公開」を要請するよう求めました。区長も、教育長も、JR東日本の一部保存という方針を認める答弁に終始しました。

困ったときは
すぐ相談を
弁護士と区議会議員が
ご相談に応じます



福島 宏子
区民文教常任委員／エレベーター等安全対策・新型コロナウイルス感染症対策特別委員／東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員



熊田 ちづ子
保健福祉常任委員／行財政等対策特別副委員長／議会運営委員／議員団長



風見 利男
建設常任委員／交通・環境等対策特別委員長／議員団幹事

オリンピックより命

子どもたちの観戦中止を

「欠席扱いにはしない」答弁引き出す

6月9日、共産党議員団は代表質問で「学校連携観戦の中止」を求めました。教育長は「観戦体験は平和を実感し感動を得ることができるまたとない機会」と述べ、学校連携観戦推進の立場を明らかにしました。また「小学校は授業日と位置付ける、中学校は授業日とはせず可能な限り参加を促す」、「小学生は欠席にしない」と答えました。

1万4千人の児童・生徒をコロナ感染から守るため、引き続き学校連携観戦の中止の声をあげましょう。

港区教育委員会に緊急申し入れ



東京都教育委員会が、組織委員会からのキャンセル受付の文書を各自治体に送らずに隠ぺいしていたことを受けて、6月18日に港区教育委員会に事実確認を求め、再度子どもたちの観戦を中止にするよう緊急申し入れを行いました。6月23日現在、目黒区・文京区・八王子市が観戦中止を決めています。港区も一刻も早く学校連携観戦の中止を決断するよう、厳しく追及していきます。

特別養護老人ホームの面会支援を

区長 防護服が必要な施設には提供

新型コロナウイルス感染症の拡大で特別養護老人ホームでの対面面会ができません。

オンラインでの面会など、工夫しているところもありますが、家族からは、直接顔を見たい、話をしたい、手を握りたいなどの声が寄せられています。

特養ホーム運営者の意見も聞き、防護服の購入費用助成（全額）を行うよう求めました。

区長は、「面会用の防護服が必要な施設には、提供する」と答えました。

エンジョイ・セレクト事業に生理用品がはまります

ひとり親世帯への子育て支援事業として、カタログから必要なセットを選べるもので、生理用品が盛り込まれることになりました。



共産党議員団が生理の貧困対策で要望し、実現しました。

引き続き、学校のトイレの個室に生理用品を設置するよう求めています。

あいは一とみなと完成

(港区立精神障害者支援センター)

6月1日より新しい建物で活動が開始
精神障害者や家族の方々を支援する拠点が誕生。



6階
ラピールの活動場所



新しくなった「あいは一と・みなと」は8階建てです。1階はだれでも気軽に入れる喫茶（はとカフェ）ができ、障害者の働く場が増えました。新しい建物は木材がふんだんに使われており温かいぬくもりが感じられます。これまでの地域活動支援センター事業等のほか、就労継続支援B型、23区で初めての生活体験プログラム、短期入所の事業が始まります。6階はラピールの活動場所になります。7階8階には知的障害者グループホームが入ります。

ワクチン接種最新情報



12歳から64歳のワクチン接種が始まります。

* 6月28日から順次予約開始 * 7月5日から順次接種開始

◎予約受付（コールセンター）

0120-252-237 0120-801-567

受付時間 [平日] 8:30~20:00 [土・日・祝] 8:30~17:30

★共産党議員団の主張で料金がかからないフリーダイヤルになり、電話が繋がらないとの声をを受けて30回線から90回線に拡大されます。

◎接種会場

増上寺／国際医療福祉大学三田病院／虎ノ門ヒルズフォーラム／東京アメリカンクラブ／国際医療福祉大赤坂キャンパス／高輪区民センター／港区スポーツセンター（8月1日から）

放課GO→学童クラブしばはま

来年4月開校する区立芝浜小学校の開校に合わせて放課GO→学童クラブしばはまができます。定員は160人です。場所は校舎の5階の学童クラブ専用室と多目的室、7階の多目的室を使用する予定です。

